

トータルサポートセンターだより



発行：京都府立舞鶴支援学校 地域支援センター トータルサポートセンター（TSC）

〒624-0812 京都府舞鶴市字堀4の1 TEL 0773-78-3133 FAX 0773-78-3135

第1回 特別支援教育合同研修会

『舞鶴市の「切れ目ない」支援をめざして』～巡回相談を通して考える～

特別支援教育合同研修会は、毎年、舞鶴市教育委員会、舞鶴市健康子ども部子ども総合対策室幼稚園・保育所課、舞鶴支援学校の三者が共催し、就学前から、高校、関係機関の方など各機関で子どもたちの支援の中核となっておられる先生方を対象として、年2回実施しています。今年度のテーマは「適切なアセスメントから支援につなぐ～子どもの姿から考える～」としました。



第1回は6月19日（月）に行い、舞鶴市の支援体制に関わっての情報提供を行った後、臨床発達心理士の山下浩二先生に上記のテーマで御講義いただきました。山下先生は、特別支援学校で勤務された後、現在は主に舞鶴市の就学前の児童の発達支援に関わっておられます。山下先生の御経験を通した、アセスメントの視点やアセスメントの大切さ、アセスメントから支援につなげていくための個に応じた支援のあり方など、事例を交えながら大変分かりやすく御講義いただきました。70名を超える参加があり、たくさんの感想をいただきましたので、一部ですが紹介します。

感想

- 事例を基に、当事者の困り感の引き出し方や支援の方法など、とても分かりやすく勉強になりました。「アセスメントするにあたっては支援者の思考をくぐることが大切」ということを教えていただき、日々子どもたちと関わる中で、意識していきたいなと思いました。
- 「How to」本がよく出ている中、今日のお話にあったように一度「自分の思考をくぐらせて」から自分なりに落とし込んだ上で実践していきたいと思います。
- 「読んでいてその子のことがイメージできるアセスメントを作ることが大切」という言葉が本当に納得できました。まだまだ勉強不足なところがありますので、関係機関と連携しながら、その子に合った支援方法をさぐっていききたいと思います。



北部特別支援学校3校共催「夏季研修講座」

今年度は「見え方に課題のある子どもたちの理解とその支援」と題して、オプトメトリストの奥村智人先生（大阪医科薬科大学 LD センター）に御講演いただきました。「見え方」に課題のある子どもたちの分かりにくさについての理解と見立てや、「見え方」への支援を学ぶことができました。当日のオンライン参加とオンデマンド配信を合わせて大変多くの先生方が学ぶ機会となりました。感想の一部を紹介します。

感想

- 普段接している子どもたちの顔を思い浮かべながら、お話を聴かせていただきました。もしかして、と思うようなところを感じたので、今日学んだことをこれから子どもたちと関わる中で意識していきたいと思います。（小学校）
- 効果的な支援を行うためには、生徒一人一人のアセスメントが大切だと改めて実感しました。また合理的配慮の具体例を知ることができて良かったです。（中学校）
- 様々なパターンの見え方、見えにくさがあること、指先の動きとも関係があることなどが分かりました。（特別支援学校）
- 見え方に課題がある子ども達について基本的な部分を分かりやすく教えていただけて良かったです。また、発達段階によってできることなどについても知ることができ、今担任している児童へのアセスメントに活用したいと思いました。（特別支援学校）
- 視覚認知と発達の関係や、トレーニング内容、合理的配慮の例等を紹介していただき、大変勉強になりました。（行政・療育施設）



～相談後の様子を教えてください～

今年度も教育相談後の様子を電話聴取させていただき、現場のニーズに応じた、役に立つ相談になっていたかを検証していきたいと考えています。相談後、おおよそ3か月後を目途に電話をかけさせていただきます。その後、具体的に取組まれたこと、子どもの変化やエピソードを具体的にお尋ねします。お手数をお掛けしますが今後のよりよい相談につなげるためにも率直な御意見を聞かせてください。必要があれば継続して支援を考えさせていただきます。



第2回 特別支援教育合同研修会のお知らせ

6月の講義を振り返った後、小グループに分かれて交流を行います。関係機関との連携や、アセスメントや環境整備をどのように取り組んでいるか交流します。今年度のテーマにもあるように、子どもの姿を思い浮かべながら交流を行い、実践につなげていける研修会となるよう考えていますので、ぜひ御参加ください。

詳細は後日お知らせします。

◎日時 11月24日（金） 14時15分～17時 場所 中公民館ホール